

自主と主権、社会発展

ペルー朝鮮友好協会会長

エストゥアルド・マルティネス・ペレス

今日、私は朝鮮民主主義人民共和国の兄弟的人民に挨拶を送り、朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年を祝賀することから討論を始めようと思います。全世界に認められている科学と文化の発展によって知られた 5 千余年の悠久な歴史をもった朝鮮民族。

私の考えでは、この 5 千余年間、朝鮮の発展のために闘争した人々はいましたが、二つの大きな帝国主義、最初は日本帝国主義、その後はアメリカ帝国主義を賢明に打ち破ることができた金日成主席が偉大な領袖、主席として認められる唯一の方だと思っています。

人民の革命を指導し導いた全期間、主席は普遍的なチュチェ思想を創始し、特にそれを抗日武装闘争に具現し、朝鮮を解放する意志をもって豆満江沿岸地域の遊撃区に人民革命政府を樹立しました。

1945 年第 2 次世界大戦の終りに朝鮮が解放された後、アメリカとソ連の軍隊はそれぞれ 38 度線以南と以北の朝鮮領土を占領することにより、半島を分裂させました。

1946 年 11 月、北朝鮮の各地で民主主義選挙が成功裏におこなわれ、これを通じて北朝鮮人民委員会が組織され、金日成将軍がその委員長に推戴されました。

ほぼ 2 年経った後である 1948 年 9 月 2 日、平壤では朝鮮民主主義人民共和国の憲法が採択され、最高人民会議第 1 回会議が招集されました。

1948 年 9 月 9 日、主席が導く朝鮮民主主義人民共和国が創建されました。主席は最初は首相として、その後は 1994 年 7 月 8 日、逝去する時まで主席として活動しました。

1997 年 10 月 8 日、主席の息子である金正日同志が朝鮮労働党総書記、1998 年には朝鮮民主主義人民共和国国防委員会委員長として推戴されました。1972 年に作成された憲法改正以後、金日成主席の職責は「国家の最高職責」に宣布され、その後は永生する主席の思想と業績を擁護、固守し継承発展させるために主席の職責を空席にしました。

金日成主席は憲法の冒頭で明示したように「共和国の永遠な主席」です。

金正日総書記は金日成主席の革命思想を金日成主義に定式化し、自主時代の指導思想として発展させ、朝鮮労働党を人民大衆の中に深く根を下ろし、鉄桶のような統一と団結を実現した必勝不敗の革命的党に強化しました。20 世紀の末、世界の社会主義体制の崩壊と朝鮮民主主義人民共和国を孤立圧殺しようとする帝国主義連合勢力の増大する攻勢の前で総書記は、独創的な先軍政治をすべての分野に具現しました。この

ように社会主義と国と民族の最高利益を死守し、社会主義強国建設に向けた苦難の行軍、強行軍を指導しました。

朝鮮民主主義人民共和国は全朝鮮人民の利益を代表する自主的な社会主義国家です。朝鮮民主主義人民共和国の主権は労働者、農民、軍人、インテリと各階層の勤労人民に属しており、彼らは自己の代表機関である最高人民会議と各級地方人民会議を通じて主権を行使します。

国家は、国家と社会の主人の利益と人権を保護し、尊重してくれます。共和国政府は人民大衆の自主的権利の代表者、人民大衆の創造的能力と活動の組織者、人民生活に責任をもった戸主であり、人民大衆の利益の保護者です。

すべての国家機構は民主主義中央集権制の原則によって構成され、作用します。

朝鮮民主主義人民共和国は社会主義的生産関係と自立的民族経済の土台に基づいています。

生産手段は国家と社会協同組織の所有であり、国家は私的所有を保護し相続する権利を法的に保証します。

共和国は人民の物質文化生活を絶えず改善することを自己活動の最高の原則としており、国家はすべての勤労者に完全な食・衣・住の条件を保障しています。

金正日総書記は主席が逝去した後、2011年12月17日まで朝鮮民主主義人民共和国を指導しました。

金正日総書記が逝去した後、出色の指導力をそなえた金正恩総書記は朝鮮民主主義人民共和国を指導しています。

総書記は朝鮮民主主義人民共和国を政治的に、科学的に、軍事的にさらに発展させ、自衛的核武力建設の歴史的聖業を成し遂げました。総書記はいかなる挑戦も恐れることなく、国を自力で守るための核武力を引き続き発展させる決心をもっています。

終わりに、私は朝鮮民主主義人民共和国の勇敢な人民に文を書く機会を与えられたことに謝意を表します。